



# たじみ監督署 安全衛生だより

## 平成22年の労働災害発生状況

平成22年1月から12月における休業4日以上労働災害発生状況（1月末速報値）は、280件で、前年に比べ38件増加（15.7%増加）となり、6人（前年比3人増加）の方の尊い命が労働の場で失われています。

主な業種別の発生状況をみると、製造業（13.4%増加）、建設業（68%増加）、通信業（300%増加）の増加が目を目立ち、依然として、機械設備による挟まれ巻き込まれ災害、足場等からの墜落転落災害が多く発生しています。

このような現状の中、経営トップ自らが先頭に立ち、安全衛生管理体制や安全衛生活動についてもう一度点検を行い、リスクアセスメントや安全衛生教育・危険予知活動などの日常的な安全衛生活動を見直していくことが求められています。

（参考）全国の労働災害発生件数

	平成22年	平成21年	増減数	増減率
死亡者数（注1）	1,117人	958人	159人増加	16.6%増加
死傷者数（注2）	74,587人	72,673人	1,914人増加	2.6%増加

注1：死亡災害報告による12月末の速報値

注2：労災保険給付データ及び労働者死傷病報告（労災非適）による11月末の速報値

### 業種別労働災害発生状況（多治見監督署管内）

	平成22年	平成21年	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	（参考） 平成20年
全産業	280 (6)	242 (3)	38	15.7%	100%	314 (2)
製造業	93 (2)	82 (1)	11	13.4%	33.2%	131
うちパルプ・紙等	7 (1)	8	-1	-12.5%	2.5%	8
うち窯業土石	36	37 (1)	-1	-2.7%	12.9%	51
うち機械金属	23 (1)	19	4	21.1%	8.2%	41
建設業	42 (3)	25	17	68.0%	15.0%	39
運輸業	21	26 (1)	-5	-19.2%	7.5%	30 (1)
卸・小売業	27	37	-10	-27.0%	9.6%	24 (1)
通信業	16 (1)	4	12	300.0%	5.7%	18
ゴルフ場	25	26 (1)	-1	-3.8%	8.9%	28
上記以外	56	42	14	33.3%	20.0%	44

本統計は、平成23年1月末日までに労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上死傷災害を集計したもので、カッコ内の数は死亡災害を内数で示したものです。

構成比は小数第2位を四捨五入しているため、各業種の合計が100%にならない場合があります。

「多治見監督署 安全衛生だより」は、岐阜労働局のホームページに掲載してあります。